

日本ーアグリテックフレンドリーな まちを目指して

TOYOHASHI
AGRI 未来の農をつくる
MEETUP



草刈りロボット「ウネカル」の実証実験

豊橋には
すぐに実証実験を
始められる
環境があります！

AOIプロジェクト研究成果発表会
2026.03.04
@プラサヴェルデコンベンションホールB

豊橋市
地域イノベーション推進室
小野健太郎

✉ chiiki-innova@city.toyohashi.lg.jp



取組の背景

農業とものづくりが共存するまち



人口

36万人の中核市

高齢化率25.8%

外国人住人数4.7%



NHKロボコン
優勝の常連!



特徴

- ✓ 東京、大阪まで90分（新幹線）
- ✓ 市内に3大学
豊橋技科大、愛知大学、創造大学
- ✓ 自動車の輸入台数・金額日本一の港



産業

- ✓ 地域随一の工業集積
- ✓ 全国トップクラスの農業産出額
- ✓ 食と農業の魅力発信拠点の道の駅とよはし
- ✓ ニッチトップ型ものづくり企業が立地

豊橋は、全国トップクラスの農業王国

TOYOHASHI
AGRI 未来の農をつくる
MEETUP



農業者・知恵・設備・施設・・・厚く集積！
全国的な農業課題も・・・やっぱり集積！

生産品目は約70種類



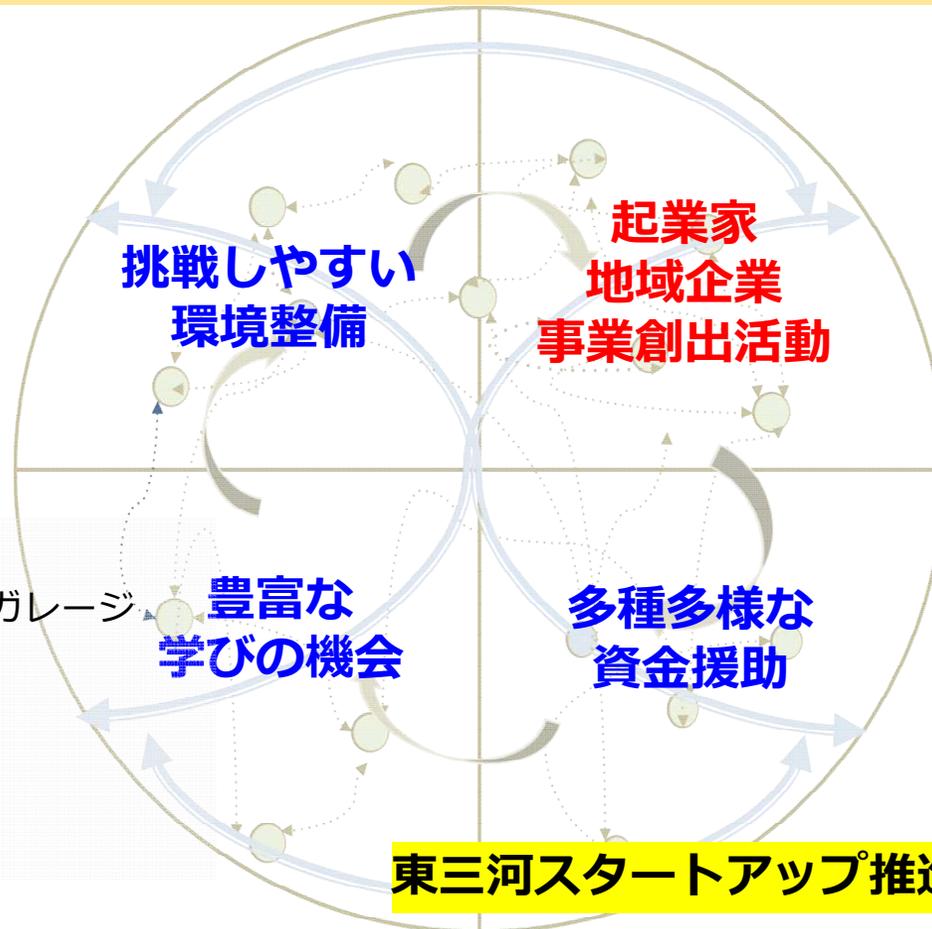
※2025年市町村別農業産出額（農林水産省）

目指すのは地域イノベーションエコシステム

必要な情報や人材がスムーズに繋がり相互に作用することで
継続的に新たなビジネスが生まれ、発展しつづける状態

- 行政
- 既存企業/商工会議所等
- 大学

- インキュベーション施設
ex.CLUE、emCAMPUS、スタートアップガレージ
- ビジネスプランコンテスト
- 各種プログラム(勉強会等)
- 多種多様なメンター
ex.先輩経営者、専門家等



- 地域企業
- 起業家
- 企業内起業家

- 金融機関
- ベンチャーキャピタル
- エンジェル投資家

東三河スタートアップ推進協議会と共に広域で取組み中

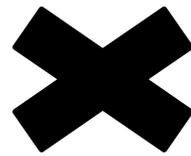
取組の概要

とよはしアグリミートアップとは？

地域内外の
アグリテック企業



アイデア・技術



地域の
農業者・企業

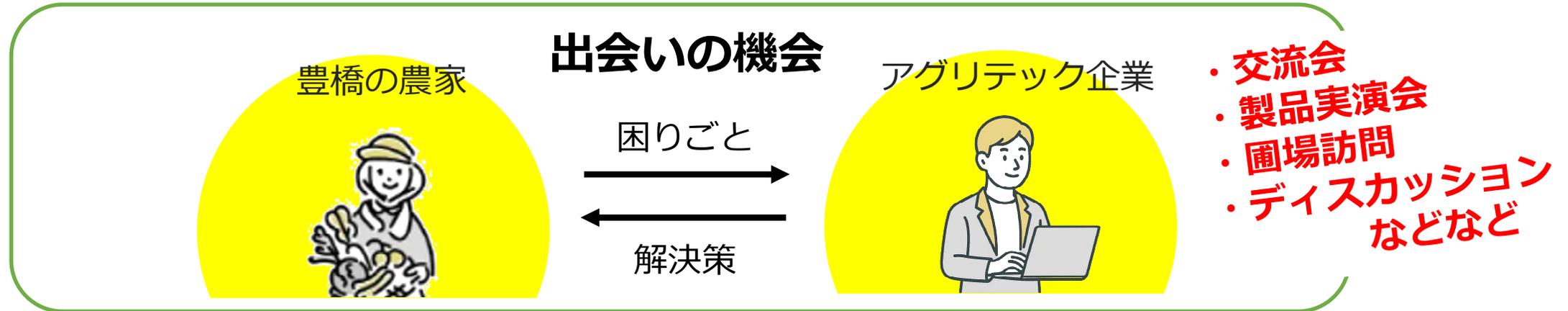


課題・技術・リソース



**農業課題解決につながる
新たな製品・サービスの社会実装**

とよはしアグリミートアップの流れ



- ・これまで
12社が入賞！
・学生部門も新設

アグリテックコンテスト

- ・ アグリテック企業の解決策を募集・審査
- ・ 入賞企業を決定（賞金総額1000万円）



実証実験

- ・ 賞金を活用しながら、2年後の事業化を目指す
- ・ 製品化後には、農家への補助制度で導入促進

あちこちで実証実験が進行中

TOYOHASHI
AGRI 未来の農をつくる
MEETUP

課題ヒアリング、アイデア検証、フィールドでの試作品検証 などなど

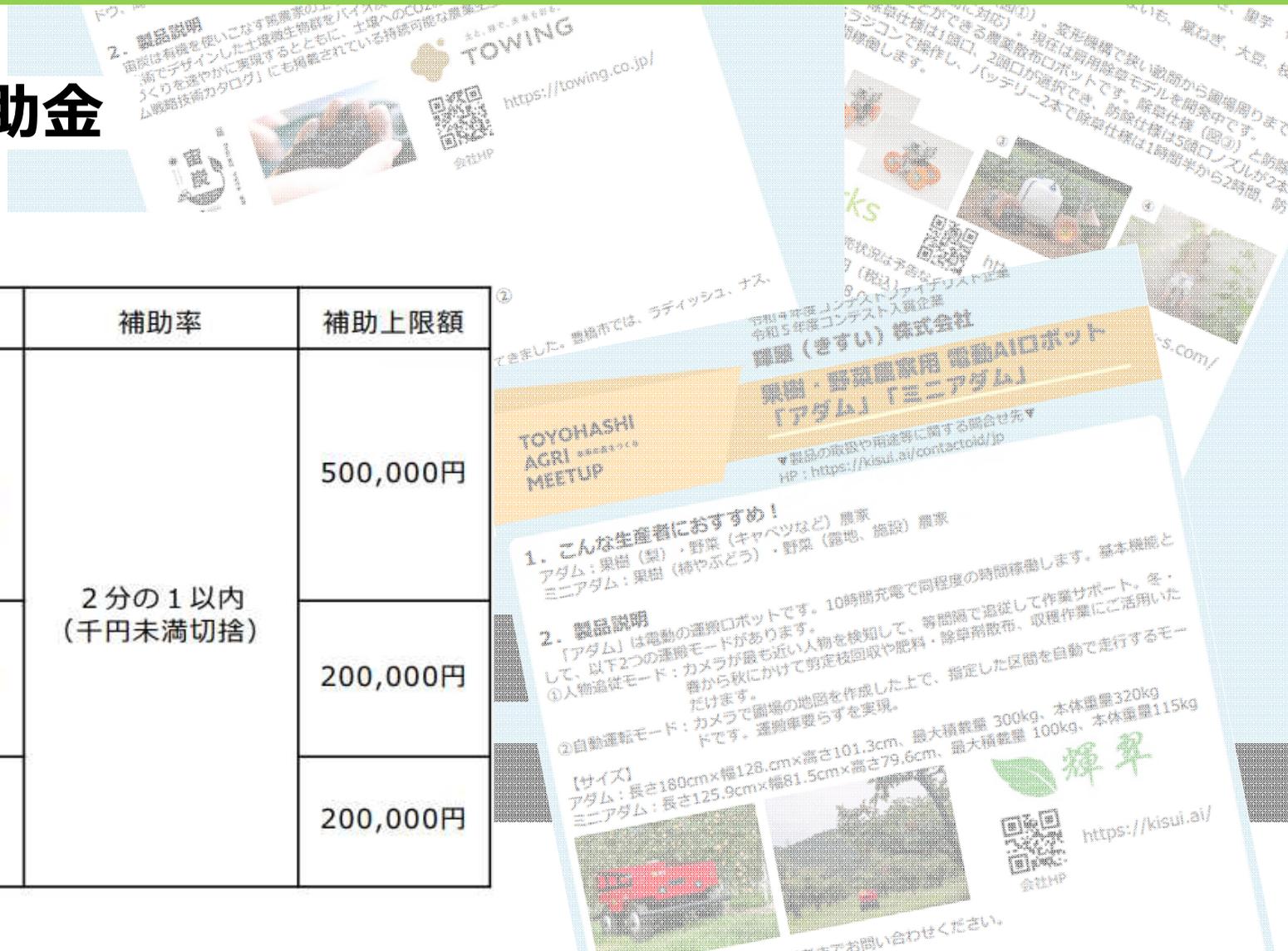


製品化後は農家のお試し利用を応援

アグリテック導入支援補助金

《補助対象経費、補助率、補助上限額》

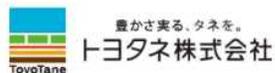
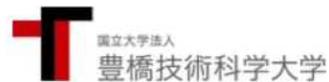
区分	補助対象経費（税抜額）		補助率	補助上限額
①	機械購入費、施設整備費、システム導入費	農業用機械、農業用ソフトウェア、農業用の器具及び農業用設備又は農業用施設を構成する装置等の減価償却を要するもの	2分の1以内 (千円未満切捨)	500,000円
②	資材購入費	農薬、肥料、土壌改良剤、バイオスティミュラント等の減価償却を要しないもの		200,000円
③	使用料、賃借料、サービス利用料	補助事業に係る使用料、賃借料、サービス利用料		200,000円



サポート団体 シナジーある応援者

TOYOHASHI
AGRI 未来の農をつくる
MEETUP

愛知豊橋次世代施設園芸
推進コンソーシアム



エリア外とのつながりを積極推進

豊橋は、

意欲あふれ・研究熱心な農業者と たくさん繋がれるまち

TOYOHASHI
AGRI 未来の農をつくる
MEETUP



地域全体の視座

企業の技術が農業の現場に入ることによって、豊橋の農業を守っていけるとおもいます

中村さん (なす)



失敗を恐れない

最初からうまくいかななくても、作業が少しでも楽になる実感があれば嬉しくおもいます

鈴木さん (柿)



まず行動する

少しでも気になる技術があれば、作業が楽になるかどうか試してみたいとおもっています

中島さん (キャベツ)

豊橋は、すぐに実証実験が始められるまち

TOYOHASHI
AGRI 未来の農をつくる
MEETUP



農家、JA、農業系事業会社、行政など、オール豊橋で実証実験をサポート！

どんなご相談も、ぜひお気軽にお願いします！

TOYOHASHI
AGRI 未来の農をつくる
MEETUP

農業者の
声を
聴きたい

実証実験を
やりたい

農地を
借りたい
買いたい

などなど

実現に向け、市の職員と一緒に汗を流します！

✉ chiiki-innova@city.toyohashi.lg.jp

これまでの実証実験事例

ナス農家の課題

化学肥料の価格が高騰しており、量を減らしたい。しかし減らすほど土づくりの作業が増え、負担が大きくなる。



ナス農家
中村さん

解決策

「宙炭（そらたん）」は、炭の微細な穴に微生物を定着させて土を整えやすくし、化学肥料を減らしても作物が育ちやすくなり、土づくりの手間を減らせる。



株式会社TOWING
代表取締役CEO
西田さん

実証実験の成果

複数の圃場で使い方の改善点を把握でき、製品化に向けた準備を着実に進められた。



高機能バイオ炭
「宙炭（そらたん）」

柿農家の課題

果樹園は傾斜や凸凹の多い畑で、収穫した果物や道具を運んだり、薬剤をまく作業が多く、体への負担が大きい。



柿農家
鈴木さん

解決策

AIで人や樹形を認識しながら果樹園内を自律的に走行し、収穫物や肥料などの運搬を人の代わりに行う電動の運搬ロボット「Adam」を開発する。



輝翠株式会社
代表取締役CEO
タミルさん

実証実験の成果

運搬に絞ったモデルの販売が開始、地域企業と連携しシェアリングサービスも展開、小型化・多機能化の開発も進んでいる。



電動の運搬ロボット
「Adam」

キャベツ農家の課題

畑の畝間のような狭い通路を歩きながら行う草刈りや農薬散布は、姿勢がつかなく、作業を続けにくい。



キャベツ農家
中島さん

解決策

畝間を自走して草刈りを代わりに行うロボットを開発し、歩き作業の負担を置き換える。



株式会社FieldWorks
代表取締役
山岸さん

実証実験の成果

草刈りロボット「ウネカル」は実証を経て販売が始まり、現場の声から農薬散布もできる派生モデル「ウネマキ」が生まれた。



畝間対応
農薬散布ロボット
「ウネマキ」

実証実験に取り組んでの感想

TOYOHASHI
AGRI 未来の農をつくる
MEETUP



株式会社TOWING
代表取締役CEO
西田さん



作型も農法も多様な圃場が
集まっており、条件の違う
環境で繰り返し検証ができた
ことが大きかったです



株式会社FieldWorks
代表取締役
山岸さん



現場での作業を見てもらい
ながら意見をいただけたこと
で、ロボットの使い方や
改良の方向性が具体的に見
えました



輝翠株式会社
代表取締役CEO
タミルさん



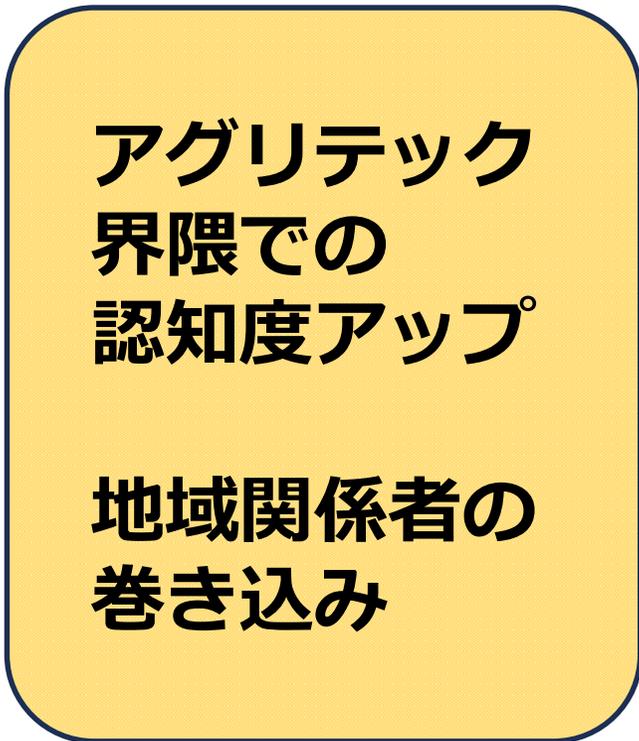
農家さんからのリアルな声
が得られ、どこに集中すべきか
整理できました。関係者との
コミュニケーションも取りや
すく、とても助かりました

日本ーアグリテックフレンドリーなまち の実現に向けて

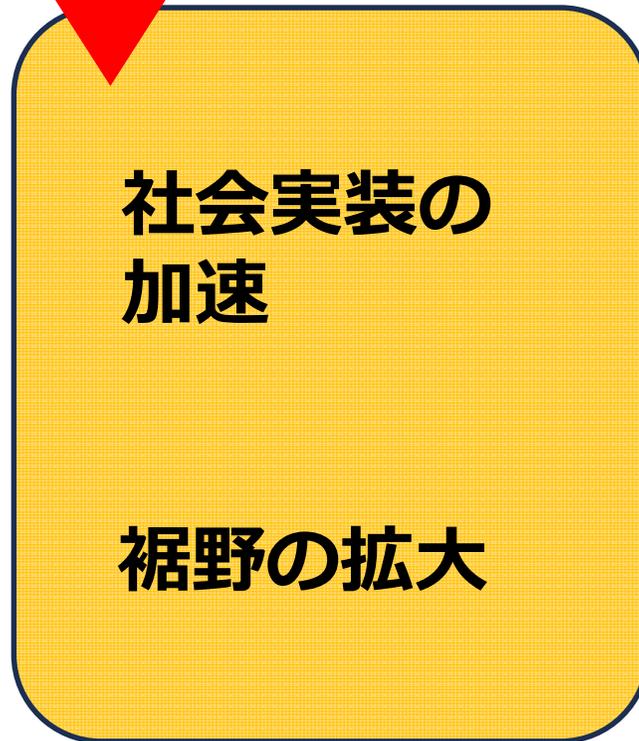
実現のステップ



イマココ



ステップ 1



ステップ 2



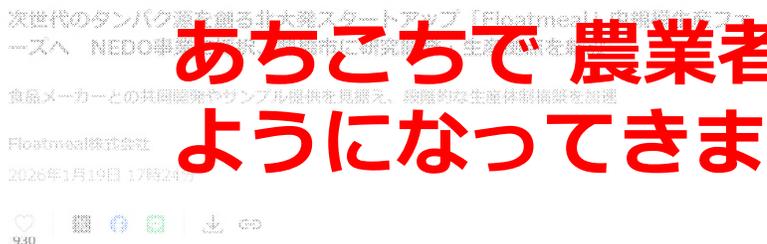
ステップ 3

アグリテック
フレンドリーなまち

少しずつ見えてきた成果

- 製品試作・効果検証・・・・・・・・・・コンテスト入賞12件 +多数
- 製品の事業化・・・・・・・・・・8件=導入補助金のカタログに掲載
- アグリテック企業の集積・・・・・・・・エリア外からの拠点開設3件 +コワーキング・通い 多数

あちこちで 農業者×アグリテック企業 の共創が展開される ようになってきました



宇宙炭量産に向けた豊橋プラント開所式
を実施のお知らせ 23

プレリリースより引用

愛知県名古屋市に本社を置く名古屋大学発のベンチャー企業、ランドグリーン株式会社（本社：名古屋市千種区、代表取締役：丹羽優喜）は、機能性野菜の開

共創 ～強み・弱みを掛け算して価値創出

農業者

現場知



熟練の暗黙知



生産現場



作物生理の把握



信頼・発言力



アグリテック企業

技術力

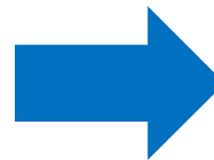


データ解析・AI

高速での試作・改良

精密制御技術

新技術への不安



価値
創出

誰でも再現可能な技術

現場で役立つ製品

収量の最大化

製品の普及

共創による相互のエンパワメント

地域で取り組もう！
いろいろチャレンジ
したい！



農業者



実績ができる！
開発が進む！
課題がクリア
になる！



アグリテック企業

強み・弱みの掛け算でお互いがエンパワメントされている

共創のさらなる活性化を目指して

たくさん会って、皆でたくさん話す機会づくり

TOYOHASHI AGRI MEETUP

